ムンバイ日本人学校令和３年度保護者説明会主旨

学校長挨拶
・今年度はコロナで１年間休校。5 月からオンラインでの授業を実施。
・授業料等の収入が激減し、本校の財政は危機的な状況です。
・10 名以上の子ども達がムンバイ日本人学校での就学を希望。
・4 月 16 日には令和３年度の始業式。1〜9 年生までの全学年で今の校舎による対面授業を再開。
学校を存続させていく為の変更点を十分ご理解の上、本校への入学・再入学をご判断頂きたいと思います。

説明会の内容
今後の学校運営方針（校長）
令和３年度の学校の運営について保護者の皆様にご理解願いたい三つのこと。

１．授業料の値上げ
4 月時点で予想される在籍人数とその後の２年間の在籍予想人数から、学校の経営を維持していくためには、どうしても授業料の大幅な値上げが必要であり、その金額は月額 12 万ルピーとなります。これは、学校の経営状態が安定化するまでの一時的な値上げとなります。

２．バスの運行停止
いわゆる「３密」の状態が長く続くスクールバスの運行は少なくとも令和３年度・4 年度いっぱいは行いません。
学校運営委員会でも、学校の経営状況という視点からも当面運行は難しいとの判断。
登下校は各ご家庭でお願いします。

３．学校外での行事停止
次年度いっぱいは新型コロナ感染症の予防の為、基本的に学校外での行事は行わない予定。
学習発表会についてもグルモハル祭と合わせて校内で形を変え実施する予定。
できないことが多いのですが、それでもオンラインでできるものはないか、コロナ禍でも校内でできるものはないかを検討していきたいと考えています。

このような厳しい経営状況ではありますが、ムンバイ日本人学校に登校してくれる児童・生徒のために私たちは学校の持っている強みを最大限に生かして頑張って行きたいと思います。
１．少人数の利点を生かした一人一人の子どもに応じた、きめ細やかな学習活動を行っていく。
２．一人一台 PC、タブレット、アップル TV、全教室の Wi-Fi 環境等恵まれた ICT 環境を生かし、より効果的な授業やプログラミング教育を実践する。
３．本校の魅力である英会話授業の充実や強固なインターネット環境を活かした近隣校とのオンライン交流実施。
このような取組を次年度の重点として新学習指導要領の実現を目指していきたいと考えております。

新型コロナ感染症予防について
文部科学省からの指針に基づきムンバイ独自の環境要因を加味しながら、衛生管理マニュアルを作成中。
マニュアルが完成後、ホームページなどを通してご案内予定。
少なくとも日本国内の学校と同等以上の厳しい感染予防策をとっていきたいと考えております。
・専門業者による始業式前の校舎全体の消毒作業。

・教室やトイレのドアノブ等、複数の子ども達が頻繁に手を触れる箇所の毎時間毎の消毒。
・登校前の体温測定やその他の症状を記載した健康観察カードのチェックと登校時、2 時間目と 4 時間目の終わりの体温測定等

学校は、再び起こるかも知れない新型コロナ感染症の再流行やモンスーン、テロなどの状況下に於いても、学びを止めない為の取組として、この 1 年間のオンライン授業でのノウハウとインターネット回線やファイヤーウォールの強化を活かし、即時、オンライン授業に切り替えて授業を継続する体制を整えてまいります。

今のムンバイ日本人学校は、コロナウイルス感染症によって日常を奪われてしまい、今までのようにはできないことが多々あります。しかし、コロナ禍であっても魅力のあるムンバイ日本人学校を作っていきたいと考えておりまので、保護者の皆様方には新しいムンバイ日本人学校を創り上げていく仲間としてのご協力をお願い申し上げます。私からは以上です。ご清聴ありがとうございました。